

令和2年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	16-	8
事業名	幼稚園運営費	
会計	款	項
一般	10	2
課名	学校教育課	
係名		
3	心豊かなまち	
3-1	生涯学びのあるまちをつくる	
3-1-1	幼児教育・学校教育の充実	
主要施策	①幼児教育内容の充実	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	幼児期の園児	目的 (対象がどのような状態になっているか)	発達課題 (自律性、自主性) や学びの連続性を踏まえた就学前教育を充実させる。
事業内容	①〔臨時職員賃金〕充実した園運営ができるよう臨時職員を適材適所で任用する。 ②〔医師・歯科医報酬費〕健全な健康管理が行えるよう医師会と連携する。 ③〔普通旅費〕県内外への園外研修を保障する。 ④〔スポ振負担金〕園で起きた事故等による園児の怪我の治療費を保障する。 ⑤〔一般消耗品費〕子どもが伸び伸びと使える画用紙や折り紙等を保障する。 ⑥〔社会見学補助金〕全額保護者負担にならないよう社会見学の一部を補助する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
	1							
2								
3								
4								
5								
			令和元年度 (決算)		令和2年度 (決算)		令和3年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			39,756		25,414		25,353	
財源内訳	直接事業費 A		39,558		25,216		25,137	
	うち一般財源		31,930		10,071		11,677	
人件費 (千円) B			198		198		216	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.03		198		0.03	
	臨時職員 (人・千円)				0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	幼児教育の無償化に伴い、町内の保育ニーズも高まっている、幼稚園児は減少しているが園児数は全体で上げていく必要がある。	③取組の課題	保育園の利用者が増加し、幼稚園児が減少している。
②R2年度に実施した取り組み	安心して仕事と子育てが両立出来る環境での保育運営を行ないました。	④今後の改善計画	幼児教育の無償化に伴い、保育園のニーズが高まっており、幼稚園児が極端に減少している。